

LCAP 体験レポート 西野珠生

経済学部 3 年の西野珠生です。私は、2 年次の夏に LCAP に参加し、台湾にある高雄科技大学に 2 週間留学していました。2 週間の中の学び、生活、思い出について紹介していきます。

○留学までの準備

台湾での留学の話の前に、留学に参加することを決めた時から実際に留学するまでに私が準備したことについてお話します。私は、3 月頃から個人授業を受けさせてもらい、家で予習復習をするという勉強スタイルでした。また、家での勉強はポキャブラリーを増やすために単語の勉強もしていました。学校で中国語の授業も受けていたので、日ごろから中国語によく触れていたと思います。参加した 3 人で分担し、台湾の文化や地理、歴史について事前調査もしました。

○留学生活の 2 週間のスケジュール (9/9～9/22 の例)

1 週間目

9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15
台湾へ 出発 開幕式	学校	学校	学校	ホームス テイ	ホームス テイ	ホームス テイ

2 週間目

9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22
学校	学校	学校	学校	成果発表 閉幕式	バス ツアー	自由行動

○学校がある日の主な 1 日スケジュール

8:00	8:00	9:00	10:10	13:30	15:30	17:30	21:00	22:00	23:00
	～ 9:00	～	～ 12:00	～ 15:20	～ 17:20	～		～	
起床	身支度	朝ごはん	1 限目	2 限目	3 限目	自由 時間	帰寮	予習 自由 時間	就寝

学校が始まる時間はあまり早くないのですが、台湾では朝食も外食なので朝食を食べる

ために早めに起きていました。最初の3日ほどは台湾のボランティア学生の方がテイクアウトを取ってくれました。台湾で有名な「蛋餅」を頼んだり、朝から蒸し餃子を食べることもありました。1限目が終わると学食を食べに行っていました。私は、「海苔飯巻」という恵方巻のようなのも食べたし、ラーメンのような乾麺と呼ばれるものも食べました。どれも本当に美味しかったのですが、LCAPに参加した3人が絶賛したのは水餃子でした。水餃子10個で120円ほどだったのでぜひこの学校に留学された方は食べてほしいです。学校が終わると自由時間なのですが、台湾の学生さんが宿題を手伝ってくれる時間を設けてくださり、いつも宿題の手助けをしてくださいました。宿題が終わると、テイクアウトでとってもらったり、校内をでてご飯を食べに行ったりしました。20時21時ごろに寮に帰ると、残っている宿題をして予習をし、お風呂に入り就寝というような1日スケジュールでした。



○留学中の学習について

授業は、参加した3人と先生で少人数授業でした。少人数授業ということで分からないところをすぐ質問することができる、少人数なので発言の機会が多いという利点がありました。



左の写真は、3人と先生の写真で、右の写真は成果発表のときの写真です。

授業内容として、中国語の授業と台湾の文化についての授業がありました。中国語の授業

では、発音の復習から入り自己紹介、数詞、買い物するときの頼み方、心情表現など、テキストを使って学びます。留学中とはいえ、中国語オンリーの授業に最初は慣れず答える前に、質問を理解するのに時間がかかってしまうという感じでした。しかし、授業を受けるにつれ耳も徐々に慣れていき自分の考えを伝えることができるようになり、授業が楽しくなってきました。聞き取れない所をそのままにするとどんどん授業は進んでいってしまうので分からない所を分からないままにせず、すぐ質問することを心掛けました。中国語を使ったカードゲームなどもしながら、勉強をするので楽しい雰囲気でも授業を受けることができました。2限が始まる時は、お昼何食べた？などの話から始まるので、昼ご飯を食べながら、料理の名前を覚えたり味の表現など考えていたりしました。中国語の授業の他に、台湾の文化の授業がありました。台湾の歴史や台湾の歌についても学びました。台湾の歌の授業では、先生と3人で一つの歌の意味を解釈しながら最後に皆で歌いました。また、台湾粘土細工体験やものづくり体験もしました。粘土細工体験で作った作品は、今でも家の玄関に飾ったりしているのでその時の情景が思い浮かぶ思い出の品が作れると思います。学校最終日には、成果発表があります。成果発表前は、ほとんどの時間を成果発表の資料作りや発表練習の時間に費やしていました。私達は、福井の紹介と台湾での経験についての発表でした。自分の中のボキャブラリーでは伝えられないときには、台湾の学生さんにヒントをもらいながら考えました。最終的には、日本語学科の学生さんの前で発表しました。10分ほどの発表だったのですが、台湾の学生さんの前で発表というのはとても良い経験になったと思っています。

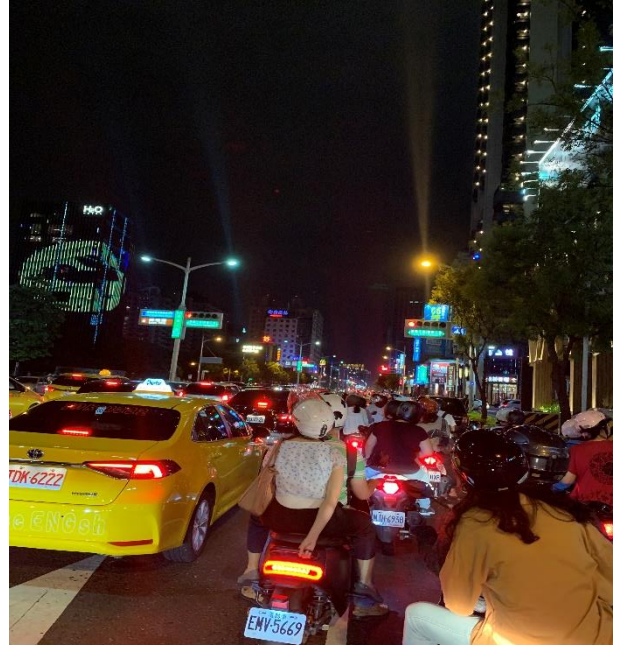
○ホームステイ先での経験

私は、高雄に住む学生さんのお家でホームステイを経験させていただきました。台湾に来る前からLINEでは繋がっていて、自己紹介や勉強も教えてもらっていました。私は、世界で2番目に美しい駅「美麗島駅」や、台湾の上空映像が3Dで見ることが出来る場所に連れて行ってもらいました。家の中では、1週間の中で分からなかった中国語などを教えてもらいました。台湾では朝ごはんも外食やテイクアウトなのがほとんどですが、ホームステイ中は、ホームステイ先のお母さんがサンドイッチなどを作ってくださいました。台湾のテレビも見せてもらったり、バイクの後ろに乗ったり色々なとこに連れて行ってもらいました。ホームステイ先には日本人1人でとても緊張しましたが、上手く話せないときに隣で学生さんが補助してくれ、家族の方が皆さん温かかったのでホームステイの期間はあっという間で楽しく過ごせました。



↑ 美麗島駅

バイクに乗っているときの風景→



○留学を考えている人へ

留学を考えている人へ、私はもし留学するか迷っているのであればぜひ参加してほしいと思います。留学は語学の勉強だけではないと私自身留学を通して学んだからです。これは私の場合ですが、私は自信のないものはなるべく前に出ることを避けたい性格だったのですが、留学を通してできるからやるのではなく出来ないからやらないといけないというように思うようになりました。そう思うようになってからは、流ちょうに話せなくても自分から話しかけに行ったりできるようになりました。留学に限らず、なんでもとりあえずやってみよう精神になったと思います。こういうところが、留学後の生活にも生きてきます。

費用的な面では、私も留学についてよく知らないときはまず費用的に無理だと思っていました。しかし、学校からの補助金も利用して、残りは自分のアルバイト代を費やせば絶対にいけないことはないと思います。私は、大学生のうちにはしか留学ができないとは思いませんが、大学生活の1年間や半年、春休み、夏休みは留学のチャンスだと思っています。私が、留学について全然知らなかったのと同じで、留学に固定概念がある人は少し話を聞くと留学について意識が変わったり目標になったりすると思います。語学力を上げたい、視野を広げたい、友達も行くから自分も興味をもったなど、留学を目指すきっかけは様々でいいと思います！なので、少しでも興味がある人は国際課の方にお話を聞きに行ったり、留学に参加した近くの先輩に質問したりして留学についてぜひ考えてみてください！！